

集団かぜ発生状況(平成31年1月18日) (NO. 12)

県内の集団かぜの発生状況は、次のとおりです。

1 初発施設における本日の措置状況 (平成31年1月18日(金)措置分)

- | | |
|-----------|------|
| (1) 初発施設数 | 2 施設 |
| (2) 患者数 | 33 名 |
- 施設別の発生状況 裏面のとおり

2 初発施設における現在までの措置状況(累計)

- | | | |
|-----------|---------|-------|
| (1) 発生施設数 | | |
| 措置状況 | 休校 | 1 施設 |
| | 学年閉鎖 | 15 施設 |
| | 学級閉鎖 | 21 施設 |
| | 計 | 37 施設 |
| (2) 患者数 | 969 名 | |
| 在籍者数 | 2,532 名 | |

注:同一施設で措置を変更した場合は、休校、学年閉鎖、学級閉鎖の措置の規模の大きい方に変更してあります。

注:患者数及び在籍者数は、措置を取ったクラス等の初発報告の累計

3 既発施設における本日の措置状況 裏面のとおり

(参考1)

集団かぜの発生状況は、インフルエンザ様疾患(※)による欠席等により、学級閉鎖等の措置をとった場合の報告です。

※ インフルエンザ様疾患:38度以上の発熱かつ急性呼吸器症状(鼻汁若しくは鼻閉、咽頭痛、咳のいずれか1つ以上)を呈した場合をいう。

(参考2)

インフルエンザの予防のために

- ① 外出後の手洗い
- ② 咳エチケット
 - 咳・くしゃみの際にはティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ1m以上離れる。
 - 呼吸器系分泌物(鼻汁・痰など)を含んだティッシュをすぐに蓋付きの廃棄物箱に捨てられる環境を整える。
 - 咳をしている人にマスクの着用を促す。
 - マスクの装着は説明書をよく読んで、正しく着用する。
- ③ ワクチン接種
- ④ 室内の適度な湿度の保持(50~60%)
- ⑤ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- ⑥ 人混みや繁華街への外出を控える

石川県ホームページの「季節性インフルエンザについて」に、予防情報等を掲載しています。

施設別発生状況

初発施設における本日の措置状況

(平成31年1月18日措置分)

	施設名	所在地	措置を取ったクラスの状況				備考
			学年・クラス名	在籍者数 (人)	患者数(人)	措置 (期間)	
1	羽咋市立 ^{セイホクダイ} 西北台小学校	羽咋市滝町	6年	13	7	学年閉鎖 (1/18)	6年生は全1クラス
2	石川県立金沢 ^{ホクリョウ} 北陵高等学校	金沢市吉原町	1年4組	40	26	学級閉鎖 (1/18)	1年生は全5クラス
	計 2 施設			53	33		

既発施設における本日の措置状況

(平成31年1月18日措置分)

区分	施設名
休 校 (1 施設)	七尾市立小丸山小学校
学年閉鎖 (2 施設)	金沢市立栗崎小学校(6年)、金沢市立犀川小学校(1年、4年、2年2組)
学級閉鎖 (8 施設)	小松市立国府小学校(1年1組、4年1組)、金沢市立長坂台小学校(4年1組)、金沢市立泉野小学校(3年2組、3年3組)、小松市立安宅中学校(3年2組)、輪島市立鳳至小学校(6年2組)、白山市立広陽小学校(3年2組、4年3組)、七尾市立田鶴浜小学校(2年2組)、金沢市立南小立野小学校(3年2組、5年2組)